

分担金・拠出金の名称	国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) 拠出金	評価	A
拠出先の国際機関名	国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR)		
国際機関の概要	UNISDRは、唯一の防災に特化した国際機関であり、国際防災協力を推進している。具体的には、第二回国連防災世界会議で採択されたグローバルな防災戦略である「兵庫行動枠組2005-2015」のフォローアップの中心的役割を担っている。兵庫行動枠組 (HFA)は各国がその実施を要請されており、UNISDRはその実施を支援するとともに、進捗のモニタリング及び報告を行っている。またその後継枠組にあたる『仙台防災枠組2015-2030』は、平成27年3月に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、コンセンサスで採択され、また国連総会でも承認されたところ。UNISDRは国連総会決議に基づき、国連防災世界会議の開催事務局を務め、会議開催および成果文書策定プロセスを担当し、今後はHFAの後継枠組として採択された仙台枠組の実施推進、進捗モニタリング、および報告などを行っていく。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:我が国重要外交課題遂行における「防災の主流化」を推進する。 活動指標: UNISDRの活動を通じた我が国重要外交施策への貢献, UNISDRと我が国のハイレベル協議の実施, 我が国民間セクターとの連携		UNISDRは、防災に特化した唯一の国際機関である。UNISDRは第二回、第三回国連防災世界会議の開催事務局を務め(第一回はUNISDRの前身が開催事務局)、防災の重要性を高めることに貢献してきた。国際的にも防災に関する関心は高まっており、国連防災世界会議の規模や参加者が増加するとともに、同機関が開催する防災の国際会議である防災グローバルプラットフォームや地域別プラットフォームの参加者も増加している。防災は、先進国の中でも我が国が主導的な役割を担っている分野であり、同機関を通じて東日本大震災を始めとする我が国の被災の知見や教訓を世界と共有する意義は大きい。	
(2) 成果目標: UNISDRにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標: 我が国とのハイレベルにおける意見交換の実施		我が国は、1994年の第1回目の横浜、2005年の第2回目の兵庫と続き、今回3回目となる国連防災世界会議をホストしてきた。幾多の災害を経験してきた我が国は、防災を世界の持続可能な開発にとって重要課題であると認識し、この分野で世界に貢献するとともに、UNISDRに対しても発言力・影響力を確保してきている。特に第3回目の上記会議では、我が国はUNISDRとハイレベルで密に連携し、防災の主流化を促進した。特にUNISDRのトップであるワルストロム国連事務総長特別代表(防災担当)は2011年以降、最も頻繁に訪日および被災地訪問を行っている国連の高官であり、特別代表の訪日等を通じたハイレベルな意見交換の実施はUNISDRにおける我が国の発言力・影響力を確保するうえで重要。	
(3) 成果目標:効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標: 具体的な組織運営改善措置の導入		UNISDRは、国際防災協力を推進すると共に防災の主流化を進める上で中心的役割を果たしている。我が国は、上記(1)及び(2)で言及のとおり、ハイレベルとの対話等の機会を通して、UNISDRの意志決定に積極的に関与している。また、国連会計監査委員会による外部監査の結果、UNISDRの財政マネジメントは健全である旨評価されている。さらに、UNISDRは機構改革にも取り組み、2008年には成果ベース・マネージメント (Results Based Management)を導入する等、組織・財政マネジメント強化に努めている。	
(4) 成果目標:我が国人材の知見、専門性を通じた防災の主流化への貢献 活動指標: 邦人職員の増強。		UNISDRで働く職員に占める邦人職員の割合は、以下のとおりであり、今後も邦人職員の増強を図っていく。 ・2014年末時点: 4.5%(邦人職員5名/全体数112名) また、UNISDRはUNISDR駐日事務所を2008年10月に兵庫県神戸市に開設し、 1)及び2)で言及されている事項がより推進されるように、UNISDR駐日事務所(所長は日本人が務めている)と緊密に連携している。それにより我が国の専門家や知見がUNISDRのプロセスを通して参加・共有が推進されている。また上記2)で言及している特別代表の訪日はUNISDR駐日事務所の調整により可能となっている。	
2. PDCAサイクルの確保		UNISDRにおいては、以下の通りPDCAを確保。 ①Plan:UNISDRにおいて2ヶ年予算案を策定。②Do:我が国の拠出金支払。UNISDRによる予算案執行。在ジュネーブ日本政府代表部によるUNISDRの運営・活動のモニタリング。③Check:内部・外部監査報告書による運営活動の成果を評価。④Act:年2回開催されるドナー会合における協議や駐日事務所との定期的な協議の場、及びUNISDR要人訪日の機会等をとらえて運営における要改善事項を申し入れ。	
担当課・室名	国際協力局 地球規模課題総括課		